

群馬県の農林水産業の概要

特徴・取組

群馬県は、県土の約3分の2を丘陵山岳地帯が占め、変化に富んだ地形をなしている。平坦地域では年間日照時間が長く、特に冬季には「からっ風」と呼ばれる北西の季節風が強く吹き、乾燥した天気が続く地域である。

利根川水系などの豊富な水資源や、大きな標高差の中に耕地が分布する等の恵まれた自然条件、大消費地に近いという有利な立地条件を活かし、多彩な農業が展開され、野菜や畜産（豚、生乳）などの産地となっている。

群馬県の産業構造は、製造業の割合が高く、高い技術力をもった企業が多い。県内の上位産業を生産額でみると、自動車製造業をはじめとする「輸送用機械器具製造業」の割合が最も高く、次いで「食品料製造業」となっている。

特産物のこんにゃくいもは、全国収穫量の96%を占め、群馬県の中山間地域における基幹作物となっており、関連産業（製粉、加工、流通）も含め、地域経済に大きな役割を果たしている。また、キャベツ（嬭恋村など）、ほうれんそう（東部・利根沼田地域）の収穫量が全国1位、きゅうり（中部・東部の平坦地域）の収穫量は全国2位となっている。

畜産は、乳用牛・豚のいずれも飼養頭数が全国で5位以内に入るほど盛んである。

花きは、平坦地から中山間地まで地域特性に応じて、バラ・シクラメンをはじめ、多様な品目の栽培に取り組んでいる。

輸出では、和牛が、ヨーロッパ、アメリカ、アジア等多くの国・地域に輸出されている。こんにゃく製品は、近年、健康志向の高まりを受け、各国・地域への輸出が伸びている。

県農政の基本指針である「群馬県農業農村振興計画2030」に基づき、基本目標「ともに創る！自然と経済の調和のもとに成長する農業・農村」の実現に向けて、農と食に関わるすべての人の相互理解のもと、本県の農業・農村の可能性を最大限に引き出し、持続的に発揮することで、県民の誰もが農業・農村の魅力と豊かさを享受できるよう、総合的な施策を展開する。

主な農林水産物

こんにゃくいも

群馬県の特産物で、収穫量は全国の96%を占めている。新商品の開発や輸出に積極的に取り組んでいる。（収穫量全国1位）



キャベツ

嬭恋村などを中心に栽培されており、収穫量は全国の20%を占めている。（収穫量全国1位）



きゅうり

県東部地域を中心に栽培されており、収穫量は全国の10%を占めている。（収穫量全国2位）



ほうれんそう

年間を通して晴天が多く、県内各地で施設・露地栽培が盛んである。（収穫量全国1位）



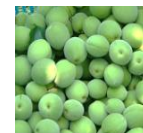
ねぎ

秋冬ねぎを中心に栽培されている。また、下仁田ねぎは県西部地域の特産品として栽培されている。（収穫量全国6位）



うめ

県西部の高崎市榛名地区、箕郷地区及び安中市秋間地区を中心に産地が形成されている。（収穫量全国2位）



生しいたけ

県西部地域を中心に菌床栽培や原木栽培が盛んに行われている。（生産量全国3位）



生乳

赤城山麓（県中部地域）を中心に乳用牛が飼養されており、全国有数の生産量を誇っている。（生産量全国5位）



豚

県中部、東部地域を中心に飼養され、全国有数の飼養頭数を誇っている。（飼養頭数全国4位）



繭

富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録され、シルク製品が注目されている。（生産量全国1位）



群馬県内の各地域における農林水産物

吾妻（あがつま）地域

【農畜産物】キャベツ、こんにゃくいも、はくさい、スイートコーン、ズッキーニ、さやいんげん、えだまめ、なす、トマト、みょうが、レタス、りんご、いちご、ブルーベリー、スプレーギク、鶏卵、豚
 【林産物】生しいたけ、えのきたけ
 【水産物】にじます

利根沼田地域

【農産物】こんにゃくいも、キャベツ、レタス、トマト、ほうれんそう、みょうが、だいこん、スイートコーン、えだまめ、りんご、いちご、ブルーベリー、おうとう、ぶどう、水稻、ふき、生乳
 【林産物】生しいたけ、まいたけ
 【水産物】にじます

東部地域

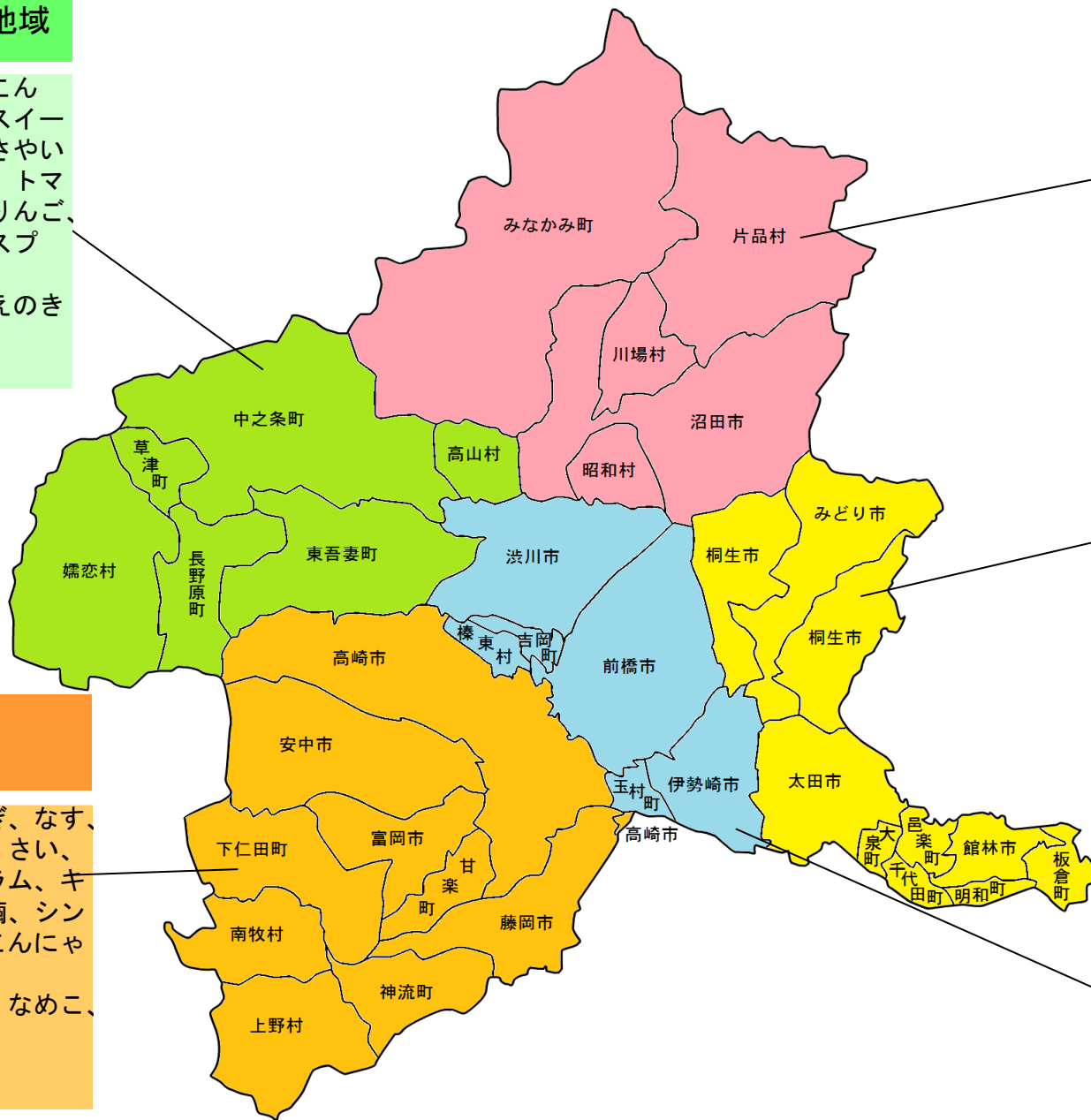
【農畜産物】きゅうり、トマト、なす、ほうれんそう、ブロッコリー、はくさい、にがうり、キャベツ、ねぎ、やまのいも、いちご、水稻、カーネーション、あじさい、シクラメン、肉用牛、豚
 【林産物】生しいたけ、まいたけ

西部地域

【農畜産物】うめ、ねぎ、なす、トマト、きゅうり、はくさい、いちご、日本なし、プラム、キウイフルーツ、キク、繭、シンピジウム、オリーブ、こんにゃくいも、豚
 【林産物】生しいたけ、なめこ、まいたけ
 【水産物】こい

中部地域

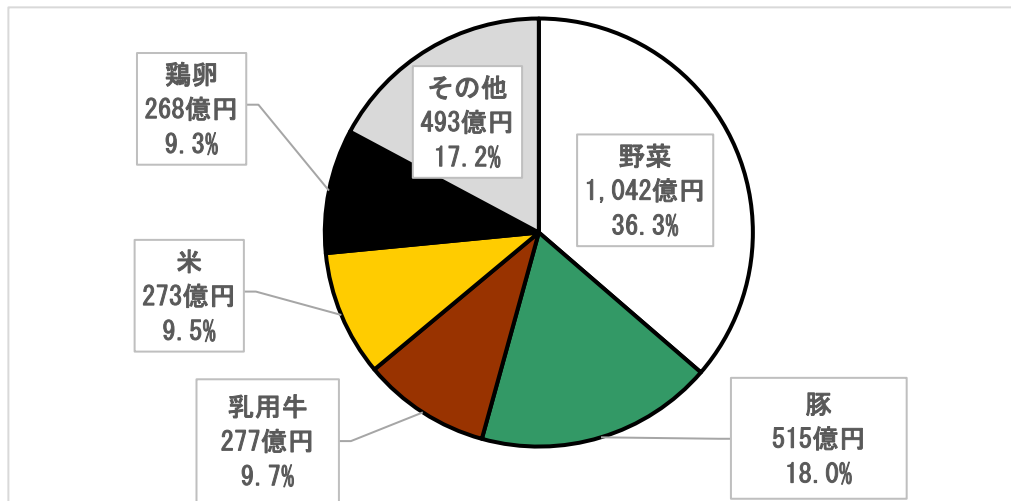
【農畜産物】きゅうり、ねぎ、ブロッコリー、トマト、なす、ちんげんさい、ほうれんそう、ごぼう、はくさい、いちご、りんご、ブルーベリー、こんにゃくいも、水稻、小麦、生乳、豚、肉用牛、鶏卵
 【林産物】生しいたけ
 【水産物】こい



群馬県の農業（1）

- ・農業産出額は2,868億円で全国15位。うち米が273億円（9.5%）、野菜が1,042億円（36.3%）、畜産が1,327億円（46.3%）。
- ・農畜産物の生産状況は、こんにゃくいも、キャベツ、ほうれんそう、繭が全国1位、きゅうり、ふき、うめが2位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	群馬県	全国	全国順位
こんにゃくいも	収穫量	37,000 t	38,500 t	1
キャベツ	収穫量	271,700 t	1,294,000 t	1
きゅうり	収穫量	50,800 t	502,900 t	2
ほうれんそう	収穫量	22,600 t	189,900 t	1
ねぎ	収穫量	18,300 t	399,200 t	6
ふき	収穫量	775 t	6,280 t	2
うめ	収穫量	4,150 t	51,600 t	2
豚	飼養頭数	610,800 頭	8,798,000 頭	4
生乳	生産量	195,201 t	7,418,222 t	5
繭	生産量	15 t	38 t	1

出典：「特定作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」、「蚕糸業の現状について 令和7年10月」

農業産出額のデータ

区分	群馬県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	2,868 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	15
米	273 億円 (9.5)	25,524 億円 (23.7)	30
麦類	23 億円	582 億円	5 *
雑穀	1 億円	87 億円	13
豆類	1 億円	621 億円	27
いも類	9 億円	2,565 億円	25
野菜	1,042 億円 (36.3)	25,510 億円 (23.7)	6
果実	78 億円 (2.7)	10,112 億円 (9.4)	30
花き	55 億円	3,423 億円	22
工芸農作物	44 億円	1,577 億円	6
その他作物	13 億円	583 億円	12 *
畜産	1,327 億円 (46.3)	36,654 億円 (34.0)	8
肉用牛	189 億円	7,861 億円	10
乳用牛	277 億円	10,035 億円	4
生乳	253 億円	8,937 億円	5
豚	515 億円	7,567 億円	5
鶏	331 億円	10,170 億円	11
鶏卵	268 億円	5,764 億円	8
ブロイラー	48 億円	4,259 億円	16 *
その他畜産物	15 億円	1,021 億円	5
加工農産物	1 億円	565 億円	27

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

群馬県の農業（2）

- ・耕地面積は6万3,200haで全国19位。うち田が2万3,500ha、畑が3万9,700ha。
- ・農業経営体数は1万5,133経営体で全国25位。うち法人経営体数が771経営体で18位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は4,457経営体で全国19位。うち法人数が679法人で17位。
- ・農業生産関連事業は、観光農園の年間販売（売上）金額が17億円で全国7位、農業経営体数は210経営体で5位。

耕地面積

区分	群馬県	全国	全国順位
耕地面積	63,200 ha	4,272,000 ha	19
田	23,500 ha	2,319,000 ha	32
畑	39,700 ha	1,952,000 ha	8
普通畑	36,000 ha	1,118,000 ha	6
樹園地	2,670 ha	248,600 ha	29
牧草地	1,040 ha	585,900 ha	17
参考) 総土地面積	6,362.28 km ²	377,979.74 km ²	21

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	群馬県	全国	全国順位
荒廃農地面積	9,079 ha	256,667 ha	10

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	群馬県	全国	全国順位
農業経営体数	15,133 経営体	836,054 経営体	25
法人経営体数	771 経営体	33,819 経営体	18
総農家数	33,121 戸	1,394,135 戸	19
販売農家数	14,442 戸	792,808 戸	25
参考) 世帯総数	805,252 世帯	55,830,154 世帯	17
集落営農数	115 集落営農	13,952 集落営農	32

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	群馬県	全国	全国順位
担い手への集積面積	27,886 ha	2,627,068 ha	21
集積率	44.1 %	61.5 %	23

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	群馬県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	21,264 人	1,036,228 人	24
男	13,402 人	659,332 人	23
女	7,862 人	376,896 人	22
65歳以上	14,578 人	721,311 人	24
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	68.6 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	4,457 経営体	212,136 経営体	19
法人数	679 法人	29,684 法人	17
参考) 人口総数	1,939,110 人	126,146,099 人	18

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	群馬県	全国	全国順位	
農産加工	総額	30,151 百万円	1,006,107 百万円	11
	事業体数	540 事業体	26,910 事業体	22
農産物直売所	総額	29,924 百万円	1,134,381 百万円	12
	事業体数	840 事業体	20,960 事業体	5
観光農園	総額	1,739 百万円	39,113 百万円	7 *
	農業経営体数	210 経営体	4,350 経営体	5
農家民宿	総額	294 百万円	4,933 百万円	5 *
	農業経営体数	10 経営体	770 経営体	20
農家レストラン	総額	953 百万円	39,900 百万円	16 *
	事業体数	30 事業体	1,390 事業体	16

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

群馬県の林業

- ・ 林業産出額は70.9億円で全国25位。うち木材生産が22.5億円、栽培きのこ類生産が48.2億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国27位、生しいたけが全国3位、なめこ、からまつ、まいたけが8位、生きくらげ類が9位。

林業産出額

区分	群馬県	全国	全国順位
林業産出額	70.9 億円	4,769.8 億円	25
木材生産	22.5 億円	2,369.4 億円	26
栽培きのこ類生産	48.2 億円	2,322.7 億円	10

出典：「令和6年林業産出額」

林産物の生産状況

区分	群馬県	全国	全国順位
素材生産量	193 千m ³	19,763 千m ³	27
針葉樹	166 千m ³	18,398 千m ³	27
すぎ	134 千m ³	11,716 千m ³	23
からまつ	13 千m ³	1,733 千m ³	8
広葉樹	27 千m ³	1,365 千m ³	11
生しいたけ	生産量 3,984 t	61,959 t	3
なめこ	生産量 733 t	23,874 t	8 *
まいたけ	生産量 1,271 t	56,609 t	8 *
生きくらげ類	生産量 62 t	1,693 t	9 *

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

林野面積

区分	群馬県	全国	全国順位
林野面積	410,779 ha	24,744,214 ha	21
国有林	178,039 ha	7,117,059 ha	9
民有林	232,740 ha	17,627,155 ha	31
人工林面積	176,181 ha	10,059,386 ha	25

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

製材工場数

区分	群馬県	全国	全国順位
製材工場数	71 工場	3,547 工場	23
製材用素材の入荷があった工場数	71 工場	3,492 工場	22
国産材のみ	61 工場	3,013 工場	21
国産材と輸入材	10 工場	386 工場	17

出典：「令和6年木材統計」

林業経営体数

区分	群馬県	全国	全国順位
林業経営体数	304 経営体	23,300 経営体	29
法人経営体数	71 経営体	3,813 経営体	21

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

群馬県の水産業

・水産物の生産状況は、内水面漁業のふなが全国12位、内水面養殖業のこいが5位、にじますが9位。

漁業産出額

区分	群馬県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	0億円	14,785億円	-
海面漁業	0億円	8,894億円	-*
海面養殖業	0億円	5,891億円	-*

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区分	群馬県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	0経営体	65,662経営体	-
内水面漁業経営体数	42経営体	4,076経営体	26

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	群馬県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	0人	121,389人	-
男	0人	109,757人	-
女	0人	11,632人	-

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区分	群馬県	全国	全国順位
漁船隻数	0隻	109,284隻	-
動力漁船	0隻	58,907隻	-

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区分	群馬県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	-t	3,589,121t	-*
海面漁業漁獲量	-t	2,786,195t	-
海面養殖業収穫量	-t	802,927t	-*
内水面漁業・養殖業生産量	291t	47,046t	21
内水面漁業漁獲量	2t	17,915t	37*
ふな	1t	248t	12
内水面養殖業収穫量	289t	29,131t	15
にじます	165t	5,202t	9
こい	56t	1,617t	5

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売(売上)金額及び事業体数

区分	群馬県	全国	全国順位
水産加工	総額	0百万円	193,147百万円
	事業体数	0事業体	1,160事業体
水産物直売所	総額	0百万円	34,259百万円
	事業体数	0事業体	780事業体
漁家民宿	総額	0百万円	5,440百万円
	漁業経営体数	0経営体	540経営体
漁家レストラン	総額	0百万円	13,511百万円
	事業体数	0事業体	380事業体

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

群馬県の農林水産業の話題等（1）

「群馬県みどりの食料システム基本計画」の推進

みどりの食料システム戦略の実現に向けて、令和4年7月に施行された「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（令和4年法律第37号）」に基づき、令和5年3月に群馬県と県内35市町村とが共同で「群馬県みどりの食料システム基本計画」を策定した。有機農業を含めた環境保全型農業や温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の推進により、農業者の安定的な経営の実現や更なる経営発展が図られるとともに、環境負荷の少ない方式で生産された有機農畜産物等の販路拡大や消費者理解を促進することで、本県農業を環境と調和しながら持続的に発展させることを目指している。

○計画の推進方向

- 1 土づくりと化学肥料・化学合成農薬低減に資する取組推進
- 2 温室効果ガス排出量削減に資する取組推進
- 3 環境負荷低減が期待できる新技術や革新的な技術等の導入促進
- 4 持続可能な食と農の地域循環システムの実現

<甘楽町>（令和5年10月20日オーガニックビレッジ宣言）

令和5年度に「甘楽町オーガニック推進協議会」を設立し、令和6年度から今後5年間は、「未来へつなぐ有機農業」を目指して、子どもたちへの食育をはじめ、日々の暮らしに溶け込む有機農業を推進し、次代への継承と有機農業のさらなる産地づくりに向けて取り組んでいる。

<高山村>（令和6年2月23日オーガニックビレッジ宣言）

5年後に目指す目標として、自然環境と調和した持続可能な農業をより一層発展させていくことを目標に、有機農業に力を入れ、農地の持つ多面的機能の保全を進める。また、大規模な慣行栽培を行う農業者の有機農業への移行や新規就農者支援の充実を図る。販路拡大の支援策とともに消費者の有機農産物への認知度向上を目指す。これまで地産地消の取り組みとして実施してきた学校給食の地場産食材の使用について、有機農産物を利用する割合を増やすことで新たな販路を獲得する。

<みなかみ町>（令和7年3月18日オーガニックビレッジ宣言）

有機農業に取り組む農業者や農地面積が少ない状況にあり、有機農業の栽培技術が普及していないことから、有機農業に取り組む農業者の支援体制を整備、環境負荷低減・資源循環型農業である「みなかみスタイル」に取り組む農業者を増やし、段階的に有機農業の拡大を推進していく。



令和7年3月18日 みなかみ町
オーガニックビレッジ宣言

群馬県の農林水産業の話題等（2）

群馬の強みを活かした野菜生産

群馬県は標高10～1,400mに耕地が広がる恵まれた自然条件を活かし、年間を通じて多彩な野菜生産が行われ、大消費地の100km圏内に位置する立地条件により、首都圏の重要な野菜供給産地となっている。

農林水産省が公表する令和6年産「野菜生産出荷統計」において、本県の野菜の重点8品目である「ほうれんそう」が出荷量及び収穫量全国1位、「キャベツ」が出荷量及び収穫量全国1位、「きゅうり」が出荷量及び収穫量全国2位となっている。

「ほうれんそう」は、平坦地から中山間地まで広く産地が形成されており、標高差を活かした産地間のリレー栽培や、雨よけハウス等による周年栽培が行われている。

「きゅうり」は、ハウスを利用して、促成（1～6月出荷）と抑制（9～11月出荷）の2作型を組み合わせた栽培が行なわれている。

また、県内7農協で出荷規格等を統一した共計販売が行われ、大消費地である京浜市場をはじめ全国各地に出荷されている。

県では、栽培技術の指導やハウス施設・機械の導入を支援するとともに、ポスター等を活用した販売促進、産地紹介の動画を配信し、PR活動に取り組んでいる。



嬭恋村のキャベツ畑

農畜産物・食品の輸出の促進

群馬県農畜産物等輸出推進機構を設置し、地域農産物やその加工品等の海外販路を開拓するため、本県の実情にあった輸出対策の基本理念を形成し、輸出事業を展開することにより、本県の農業や食品産業の育成と活性化を促進している。

令和6年群馬県農畜産物等の輸出金額は、前年を上回る18億5,700万円（前年比120.7%）となり、近年、健康食品として認知度が向上しているこんにやく加工品や、牛肉が順調に増加したこと等により、前年を上回った。

- ・こんにやく加工品は、近年、健康食品として海外での認知度が向上してきており、輸出額は前年比108.1%となった。
- ・畜産物は、牛肉の欧州及び北米向けの輸出が好調であり、輸出額は前年比126.0%と増加した。

県産野菜の輸出については、台湾・香港を対象にバイヤー招へい商談会や現地PR販売等を継続的に実施した結果、通常取扱品として定着する品目もあり、輸出額は近年増加傾向にある。一方、海外からの需要はあるものの、輸出に取り組む生産者、生産量が十分でない現状にある。

今後は、海外の実需者が求める品目・品質に応じた生産を推進するとともに、生産者団体等と連携し、輸出に取り組む生産者の掘り起こしを図るなど、輸出促進対策を強化する必要がある。また、輸出先国・地域を拡大するなど、新たな販路開拓も積極的に進めていく。



“日本の食品”輸出EXPOに群馬県ブース出展
（令和7年12月3～5日）幕張メッセ